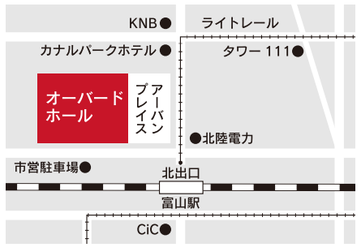
下記は2019年10月15日現在の情報です。変更および追加となる場合があります。

AUBADE HALL calendar 2019.11~2020.1

AUBADE HALL

11	3	日・祝	**2019オーケストラ・フェスティバル**		
			【開演】14:00	【問】富山県オーケストラ連盟 事務局	090-2833-5148 アスネット
	7	木	**トリエステ・ヴェルディ歌劇場　G.ヴェルディ「椿姫」**		
			【開演】18:30	【問】富山テレビ放送 事業部	076-492-7106 アスネット
	8	金	**FMとやま×オーバード・ホール×ほとり座 特別上映会　「ブルーノート・レコード ジャズを超えて」**		
			【開始】19:00	【問】富山市民文化事業団 総務企画課	076-445-5610 アスネット
	9	土	**第23回全国小学校管楽器合奏フェスティバル東海北陸大会　第46回富山県小学校バンドフェスティバル**		
			【開演】12:30	【問】富山県小学校管楽器教育研究会（呉羽小学校）	076-434-3100
	10	日	**川中美幸・弦哲也と素敵な歌仲間**		
			【開演】14:30 ／ 18:00	【問】アルビス株式会社	0766-56-7217
	15	金	**梅沢富美男劇団特別公演 梅沢富美男・研ナオコ アッ！とおどろく夢芝居**		
			【開演】14:00 ／ 18:00	【問】富山公演事務局	076-224-5260 アスネット
	17	日	**桐朋アカデミー・オーケストラ　第59回定期演奏会**		
			【開演】14:00	【問】桐朋学園音楽部門 富山キャンパス事務部教学課	076-434-6800 アスネット
	19	火	**山内惠介 全国縦断コンサートツアー2019～Japan 季節に抱かれて　歌めぐり～**		
			【開演】14:00	【問】富山公演事務局	076-224-5260 アスネット
	22	金	**組曲虐殺**		
			【開演】18:30	【問】チューリップテレビ 076-444-8888 ／イッセイプランニング	076-444-6666
	23	土・祝	**富山大学ギターマンドリンクラブ　第58回定期演奏会**		
			【開演】17:30	【問】富山大学ギターマンドリンクラブ	https://tugmc.jimdo.com/
	24	日	**日医工presents葉加瀬太郎コンサートツアー2019『Dal Segno ～ Story Of My Life』**		
			【開演】17:00	【問】エンタメスタイル	076-256-5538
	27	水	**坂本冬美コンサート2019**		
			【開演】14:30 ／ 18:30	【問】イッセイプランニング	076-444-6666
	29	金	**自衛隊演奏会「ミュージックフェスタ2019 in TOYAMA」**		
			【開演】18:30	【問】自衛隊富山地方協力本部広報班	076-441-3271
	30	土	**日本・フィンランド外交関係樹立100周年記念　ラヤトン ジャパン・ツアー2019**		
			【開演】19:00	【問】MIN-ON中部センター	052-951-5391 アスネット
12	7	土	**富山ミナミ吹奏楽団第40回記念定期演奏会**		
			【開演】18:00	【問】富山ミナミ吹奏楽団	090-1639-5819 アスネット
	8	日	**ユニコーン100周年ツアー“百が如く”**		
			【開演】17:00	【問】キョードー北陸チケットセンター	025-245-5100
	14 15	土 日	**ミュージカル「天使にラブ・ソングを～シスター・アクト～」**		
			【開演】両日12:00	【問】北日本新聞社企画事業部	076-445-3367 アスネット
	18	水	**富商 ホットコンサート2019**		
			【開演】18:30	【問】富山県立富山商業高等学校	076-441-3438
	22	日	**第55回 第九交響曲“歓喜のタベ”2019**		
			【開演】16:00	【問】北日本新聞社読者局事業部	076-445-3355 アスネット
	26	木	**富山県立富山工業高等学校 吹奏楽部第56回定期演奏会**		
			【開演】18:00	【問】富山県立富山工業高等学校	076-441-1971
1	4	土	**東京スカパラダイスオーケストラ 30th Anniversary Hall Tour 2019-20「TOKYO SKA30～ズレたままハジキ飛ばしていこう～」**		
			【開演】18:00	【問】キョードー北陸チケットセンター	025-245-5100
	5	日	**久保田利伸　TOSHINOBU KUBOTA HALL CONCERT TOUR 2019-2020″Beautiful People″**		
			【開演】17:00	【問】キョードー北陸チケットセンター	025-245-5100
	8	水	**ニューイヤーコンサート2020 ウィーン・シェーンブルン宮殿オーケストラ**		
			【開演】19:00	【問】富山市民文化事業団 総務企画課	076-445-5610 アスネット
	11	土	**高嶋ちさ子12人のヴァイオリニスト コンサートツアー2020″女神たちの饗宴″～Favorite Classic Melody～**		
			【開演】16:00	【問】エンタメスタイル 076-256-5538 ／富山テレビ放送事業部	076-492-7106
	13	月・祝	**第43回新春民謡の祭典**		
			【開演】11:00	【問】北日本新聞社読者局事業部	076-445-3355
	17	金	**丘みどり・純烈 スペシャルコンサート2020**		
			【開演】14:00	【問】グッドラック・プロモーション（株）	086-214-3777
	19	日	**KNBスペシャル スーパー戦隊スーパーライブ**		
			【開演】11:00 ／ 14:00	【問】北日本放送事業局	076-432-5555

アスネット…アスネットカウンター取り扱い。お買い求めは、P11「チケット購入方法」をご覧ください。



オーバード・ホール（富山市芸術文化ホール）
〒930-0858 富山県富山市牛島町9-28　TEL.076-445-5620
http://www.aubade.or.jp　オーバード・ホール

交通のご案内
鉄道利用：富山駅下車、北出口から徒歩2分
航空利用：富山空港よりタクシーで約25分、バスで富山駅まで約30分
お車利用：北陸自動車道 富山I.C.出口から約20分

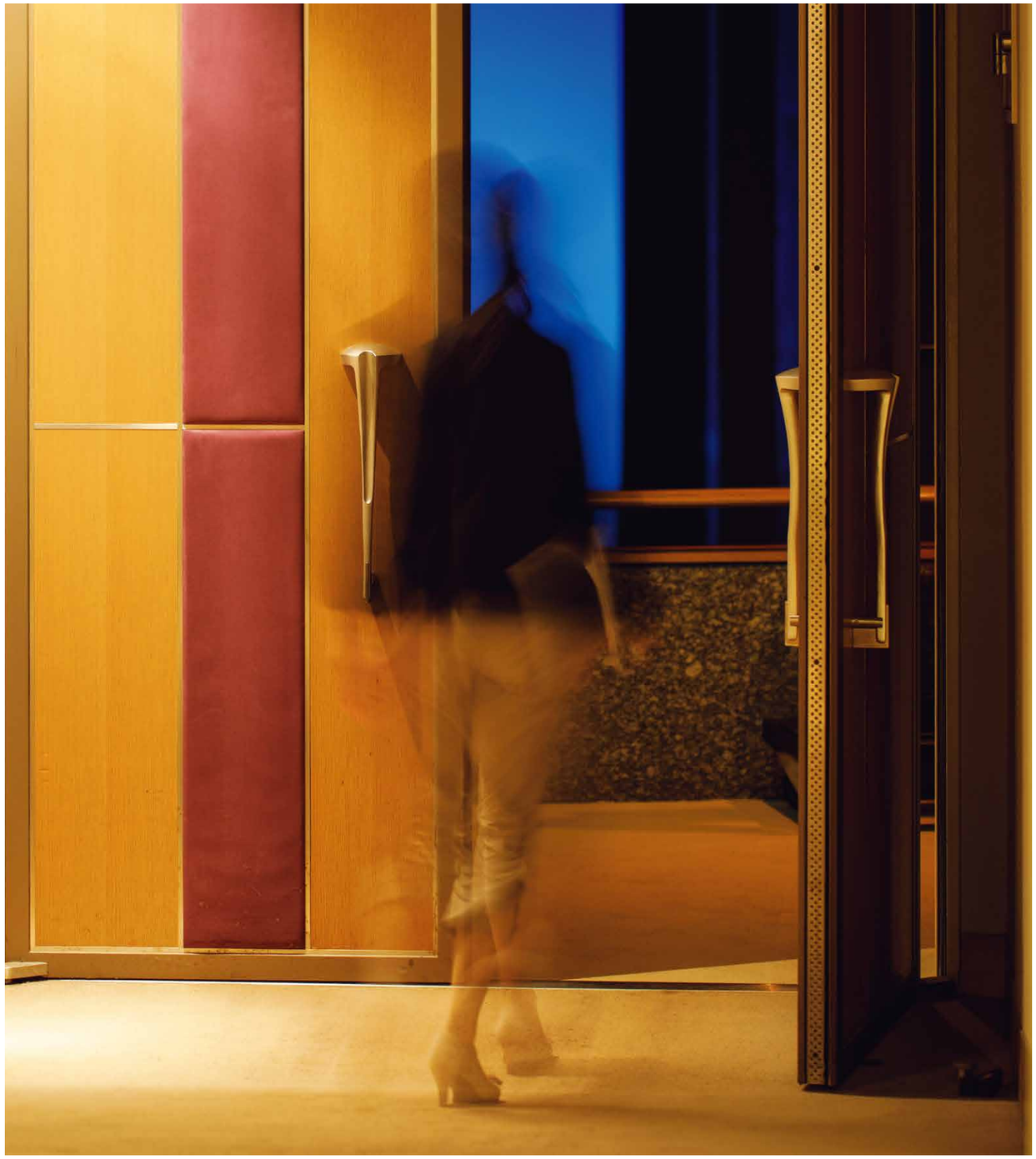
Mite Mite vol.62
ミテミテ 2019.autumn号　発行日：2019年10月28日
発行所：公益財団法人 富山市民文化事業団　TEL.076-445-5610
企画・編集：Mite Mite編集室　デザイン：CROSS　写真：今寺学

Mite Mite

「人と、街と、劇場をつなぐ。」 オーバード・ホール情報誌

2019 - autumn
VOL. 62

AUBADE HALL



ちょっとキモチを豊かにする出会いのような、文字だけの小さな劇場です。

カルメンは死んだ

芸術学という科学は成り立たないかも知れません。カルメンもトスカも、ドン・カルロスもエルナーニも死んでしまいます。しかしながら、学問の力では人を殺せないのです。

いま2019年9月16日、ウィーンにいます。ウィーンに数多くある劇場の中でその頂点にあるのが国立オペラ劇場です。通い続けて30年になります。毎年、秋と春に10公演くらいを観ますが、1997～98年と2012～13年は、ウィーンに滞在して音楽生活をする機会を得ました。特に前者のシーズンには、ウィーンで国立オペラ劇場のオペラとバレエを中心に180回以上の公演を観ています。

ウィーンの音楽の場の響きは、きわめて特異です。教会は建物自体が楽器で、つまり楽器の中で音楽体験できるようになっています。また、コンサートホールの響きも格別です。コンチェルトハウスやムジークフェラインは上下で響くようになっています。ホールは日本式に言うと2階にあって1階の天井、つまり2階の床とホールの天井が響き合うのです。ホールの空間が空中に浮かんでいるイメージですね。日本のように地面を掘り下げて1階客席を階段のようにして、ホールの横壁で響きを創り出す方式とはだいぶ異なります。

この特異なウィーン方式は四旬節前の1カ月余に舞踏会が行われることに依ります。舞台ではオーケストラが演奏して、客席を取り払ったパルテーレ（客席1階部分）で、ワルツを踊るようにするからです。1階の床を水平にすることで舞踏会の会場に模様替えすることができます（その為に値段の高いチケットでも1階の座席は仮設席が多いのです）。国立オペラ劇場だけは資金力があるので、数日間の為だけに水平の床を特別に設えます。

昨日は《ホフマン物語》を観ました。ストーリーで魅せる演劇的なオペレッタです。と言っても、オリンピアのコロラチュラと〈舟唄〉は堪能しました。演出も享楽性と絢爛さに彩られた19世紀末のエピステーメーを、存分に感じさせてくれました。

文：網野公一

網野公一 Koichi Amino：1960年生まれ。西洋音楽史家。玉川大学教授。ベートーヴェン、モーツァルト、ブラームス関係の、またピアノ音楽史関係の論文多数。著書に『歴史を読む』『円卓』『モーツァルトスタディーズ』など、他に訳書多数。ウィーンを中心に音楽文化論、芸術論を展開していて、最近は歌舞伎や俳句、落語などへも領域を広げている。

Mite Mite独自の視点から、富山で活躍するアーティストにスポットを当てて紹介します。

Vol.9

TOYAMA
ART STAGE
2019 AUTUMN

浮花（2016）陶土・磁土　神谷麻穂 Asaho Kamiya：1986年愛知県生まれ。2012年金沢美術工芸大学大学院修了。2016年ザプリンスギャラリー東京紀尾井町 レセプションカウンター壁面に作品展示。工芸の現在 第二回菊池寛実賞（菊池寛実記念 智美術館／東京）。2017年神谷麻穂（Kamiya Asaho）展（目黒陶芸館／三重）。2018年CONTACT 交換する物語の部屋（黒部市美術館／富山）。2020年4月 ギャラリー目黒陶芸館（三重県）にて個展開催の予定。

NEW YEAR concert

ニューイヤーコンサート2020
ウィーン・シェーンブルン宮殿オーケストラ

ウィーンから新年を彩る音楽の贈り物

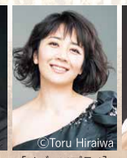
演奏曲目（予定）

ヨハン・シュトラウスⅡ世：喜歌劇「こうもり」より序曲、皇帝円舞曲、美しく青きドナウ

フランツ・フォン・スッペ：喜歌劇「ボッカチオ」より第1幕アリア“あなたが愛してくださるならば（恋はやさしい野辺の花よ）”♠

フランツ・レハール：喜歌劇「メリー・ウィドウ」第2幕より“ヴィリアの歌”♥／第3幕より二重唱“唇は語らずとも”♥♠ ほか

［指揮］
ヴィニシウス・カター



［メゾ・ソプラノ］
林 美智子♥

［バス］
森 雅史♠

［管弦楽］
ウィーン・シェーンブルン宮殿オーケストラ

［バレエ］
カタリーナ・ビラーハルト
イゴール・ブルームベルク

公演情報

特別協賛　学校法人 片山学園
ニューイヤーコンサート2020
ウィーン・シェーンブルン宮殿オーケストラ

日時：2020年1月8日（水）
19:00開演
会場：オーバード・ホール

チケット：［全席指定・税込］
S席 6,000円　A席 4,000円　U-25 2,000円
※U-25：鑑賞時25歳以下対象。公演当日の空席よりお席をご用意します。
※未就学児入場不可。
プレイガイド：アスネットカウンターほか
★ チケットのお求めは P11「チケット購入方法」をご覧ください。

華やぎを運ぶウィーン・シェーブルン宮殿オーケストラ

ヨーロッパの宮殿にオーケストラは欠かせません。皇帝や女帝一家の豪華な舞踏会のために、一晩中ダンス音楽を奏でるのが彼らの役目です。

時は変わって現代。女帝マリア・テレジアが完成させた“白鳥が翼を広げた優美な姿”に例えられるシェーンブルン宮殿の一角、オランジェリーと呼ばれる音響抜群の大理石のホールを本拠地に活躍するのが、ウィーン・シェーンブルン宮殿オーケストラです。彼らの最も得意なレパートリーは、ウィーン音楽の代名詞にもなっている「シュトラウス・ファミリー」のダンス音楽の数々。新年の華やぎには、とりわけ優美なワルツや軽快なポルカがぴったりです。

そのシェーンブルン宮殿オーケストラが、本拠地でのニューイヤーコンサートを終えたその足で、日本に駆けつけてくれます。

ニューイヤーコンサートの歴史

ところで、「シュトラウス・ファミリー」のダンス音楽をメインにしたニューイヤーコンサートが始まったのは、いつのことでしょう？

ルーツは1873年、「ワルツ王」ヨハン・シュトラウスⅡ世が、ウィーン楽友協会で催された宮廷舞踏会のために宮廷歌劇場オーケストラ（ウィーン・フィルの母体）を指揮して、自作のワルツやポルカを演奏した時からと言われています。その後1939年にオーストリアの名指揮者クレメンス・クラウスが、今の形のコンサートを始め、その歴史は綿々と受け継がれて今や楽友協会「黄金の間」で開催されるウィーン・フィルのニューイヤーコンサートは、全世界に衛星中継されるほどの大人気です。みなさまもお正月にテレビでご覧になっているかも知れません。

ウィーンではこの他にも、ウィーン・コンツェルトハウスを舞台に、ウィーン市から公式に市のオーケストラに任命されたウィーン・シュトラウス・フェスティヴァル・オーケストラが「ワルツ王」伝統の“弾きぶり”（指揮者がヴァイオリンを弾きながら指揮する）で観客を沸かせ、オペレッタの殿堂フォルクスオーパーではエンタテイメント性満点のニューイヤーコンサートが繰り広げられるなど、選り取り見取り。

もっと手軽なコンサートをご希望ならば、「ワルツ王」の銅像が立つ市立公園（シュタットパルク）のクアサロンでも、シャンデリアが煌く豪華な広間で歌や踊りを伴ったダンス音楽が日夜楽しめます。つまりウィーンの新年には、「シュトラウス・ファミリー」の音楽が絶対に欠かせないのです。この伝統は、今では日本にもしっかり定着していることを、みなさまも御存知でしょう。

オーバード・ホールが、一夜宮殿の広間に

最後に、新年のオーバード・ホールで催されるニューイヤーコンサートについて、聴きどころ見どころをご紹介しましょう。

聴きどころは何と言っても、「シュトラウス・ファミリー」の音楽に関して天下一品の腕前を誇るウィーン子集団、シェーンブルン宮殿オーケストラの粋で魅惑的なワルツの数々。それを率いる若く颯爽とした指揮者、ヴィニシウス・カターの指揮には、目も耳も魅了されます。

このウィーン勢に花を添えるのは、歌も演技も抜群の妖艶なメゾ・ソプラノ、林 美智子さんと、富山出身のハンサムなバス歌手、森 雅史さん。このお二人はソロだけではなくオペレッタの甘い二重唱“唇は語らずとも”で、ロマンチックな大人の恋を歌い上げます。

加えて、本場ウィーンのニューイヤーコンサートでも必ず登場する美男美女のダンサーカップル。彼らが若さ溢れるエネルギーで“舞台狭し”と踊り回るワルツやポルカは、最高の目のご馳走です。

この夜オーバード・ホールは、シェーンブルン宮殿のゴージャスな雰囲気と華やぎに満ちることでしょう。みなさまも皇帝女帝になった気分で、存分にお楽しみ下さい。

文：ひのまどか［音楽作家］

Q&A

富山県出身
バス 森 雅史

Q1. これまでに、オーバード・ホールの舞台に立ったことはありますか？

第九交響曲“歓喜のタベ”2015に出演させていただきました。とにかく音響が素晴らしかった。富山の皆さんと歌声を重ねることが出来て感動しました。

Q2. ずばり、ニューイヤーコンサートの魅力は？

劇場まで足を運び、音楽に身を委ね、新年の始まりを彩る…。その華やかさと豊かな時間が魅力だと思います！

Q3. 今回のコンサートの意気込みを教えてください。

オペレッタのナンバーを歌わせていただくのが初めてで、緊張していると同時にとても楽しみです。新国立劇場オペラ研修所時代からお世話になっている林美智子さんと、久々にご一緒させていただけることも待ち遠しいです！

Q4. 好きなアーティストはいますか？

大好きなオペラ歌手やクラシックの演奏家はたくさんいますが…高校生のころからコンサートに行くほど、玉置浩二さんのファンです！歌声の移り変わりを追うだけでも魅力的で、表現力の豊かさを感じます。

Q5. 富山のここが好き！というのがあれば教えてください。

僕の音楽のルーツは呉羽高校ですが、その隣にあった芸術創造センターは、音楽大学受験の練習のために通ったこともあり、今でも訪れると背筋が伸びる気がします。音楽への情熱や、上達する喜びを思い出す大切な場所です！

Q6. 声楽を始めたきっかけは？

呉羽高校で管弦楽部の指揮をされていた、黒崎隆憲先生の影響がとても大きかったと思います。また、高校3年生の時に全米演劇祭に参加したのですが、引率の先生からレッスンを受けたり、当時流行していた3大テノールについてお話を伺ったり、同世代のミュージカルのステージを観たり…そして、自分たちのステージがスタンディングオベーションをいただいたり。舞台の素晴らしさに直接触れ、そこから声楽を学ぶという青写真を描き始めた気がします。

Q7. 最後に、お客様へのメッセージをお願いします。

故郷で歌わせていただけることは私にとって本当に大きな喜びです。皆様と音楽の素晴らしさを分かち合えたらとても嬉しいです！ご来場、心よりお待ち申し上げております！

Masashi Mori Q&A

コンサートのドレスコード
for Mite Mite !

歌舞伎座には、ドレスコードはとくにありません。しかし、お客様の多くは着物を着用して参加します。ひときわ気合が入るお客様は、海老蔵さんの舞台では海老のモチーフがどこかに入った着物を着用するなど、その日の舞台をさらに装いで盛り上げます。ステージ上の演者と、観客とが一体となって創り上げるものこそが本物の芸術の感動につながることを知っているからです。

スポーツ観戦もそうではありませんか？応援するチームのユニフォームの色をまとい、応援パフォーマンスに参加することで、スポーツの舞台そのものを選手と一緒になって創り上げています。

アイドルのコンサートや、ロックコンサートにしても例外ではありません。観客が自発的に非日常的高揚感を共有するために、あるいはアイドルやロックスターにリスペクトを表現するために、場にふさわしい空気感の装いで参加します。

同様に、表向きは「ドレスコードはとくにありません」と書かれているクラシックコンサートにも、観客側からの自発的ドレスコードがあると、場の一体感をより深められるのではないでしょうか。ステージ上の演奏者は、偉大な作曲家が命を削るようにして創り上げた曲に敬意を表するために、あるいはわざわざ足を運んで来場してくださる観客に感謝の意を表現するために、男性は燕尾服やタキシード、タイドアップしたスーツで装い、女性もロングドレスやカクテルドレスで正装しています。

観客も、訓練を重ねてレベルの高いパフォーマンスを披露してくれる演奏者に敬意を表すため、あるいは、会場全体の非日常の雰囲気に貢献するため、正装とまではいかなくても、普段着とは異なるドレスアップを心がけていくと、ひと味違う感動を味わえると思います。とりわけ新春におこなわれるコンサートは、一年の始まりを祝う特別なコンサートでもあるので、祝意を表す略礼装くらいで臨みたいところです。格別な緊張感が広がり、演者もいっそう力が入り、結果、観客として味わえる感動も大きくなるので、いいこと尽くしです。

*

とはいえ、新春は雪などの悪天候に悩まされることも多い富山においてそれは現実味がない、という声も聞きます。足元は長靴やブーツにならざるをえないし、分厚い防寒上着は必須だと。その場合でも、可能であれば防寒上着はクロークなどに預け、上半身だけでも華やかな特別感を演出することはできます。

男性であればジャケットにポケットチーフをさすだけで凛々しく見違えます。首元にアスコットタイを巻くとさらに粋です。女性であれば、下はデニムであっても上質なブラウスを合わせるだけでドレスアップ感が出せます。セーターの場合でも、大きめのブローチやシルクのスカーフをあしらうだけで、格上の装いに見えます。リップもアクセサリーと見立て、通常より色を明るめにして丁寧につけるだけで絶大な効果があります。注意したいのは、じゃらじゃらと音がなりそうなアクセサリーの重ね付けを避けることと、擦れると音を立てるナイロン系の素材を避けること。強い香水を避けること。演者が客席を見て、今日のお客様は華やかで素敵だなと感じると、その喜びが演奏にも反映されるはずです。

会場側も、ドレスアップしてきてよかったなとお客様が納得できるように、豪華な花を飾るなどしてもてなしてくださっています。勝手を申し上げるならば、記念写真を撮りたくなるフォトスポットを設置したり、ドリンクコーナーにタキシード姿のスタッフを配置したりといった、さらなるドレスアップのサポートに期待したいところです。

ステージ上の演者だけでなく、観客も、会場スタッフも、全員が一期一会のパフォーマンスに参加している大切な役者です。次回のコンサートはそんな心構えで臨んでみませんか。

**演者も、観客も、スタッフも、
一期一会のパフォーマンスだから。**

文：中野香織
株式会社Kaori Nakano 総合研究所代表／昭和女子大学客員教授。服飾史家として研究・執筆・講演をおこなうほか、企業の顧問を務める。日本経済新聞、読売新聞、北日本新聞「まんまる」はじめ数媒体で連載中。著書『ロイヤルスタイル 英国王室ファッション史』、共著『フォーマルウェアの教科書（和装・洋装）』ほか多数。富山市出身。
公式HP　www.kaori-nakano.com

イラスト：坪田千生

富山駅南北開通記念!!

劇場のまえに✕あとに。

富山駅の南北開通により、
往来が7分も短縮！
オーバード・ホールへの
アクセスも良好になりました。

今回のテーマは、酒と音楽と映画。
「ブルーノート・レコード」を観たあとは、無性にジャズが聴きたくなり、語りたくなる。
それも雰囲気抜群の酒場で。グラス片手に酒に音楽に酔うも良し、仲間とウンチクを語り合うも良し…。
余韻を味わいながら「じっくり一杯」。どうぞ楽しいひとときを。

駅南バー篇　オーバード・ホールから歩いて10分程で行けるお店をご紹介。

スペインバル　バー **バルバンコ**
(barbanco)

**クラフトビール片手に
ウンチクプロレス！**

日替わりの多彩な生クラフトビールを、料理に合わせて飲み比べるのもオススメです。おつまみ、ご飯、デザートでお腹もしっかり満たしてくれる。
◆ 新富町2-5-3
☎076-471-5355
営：17：00～24：00
（土.日.祝 11：00 ～ 23：00）
休：火曜日・月1回不定休

名物ロティサリーチキンは、外はカリッと中ジューシーで、旨い！

BLUE NOTE RECORDS BEYOND THE NOTES

FMとやま ✕ オーバード・ホール ✕ ほとり座 特別上映会
「ブルーノート・レコード　ジャズを超えて」
Supported by TOYAMA TOYOTA

マイルス・デイヴィスからノラ・ジョーンズまで、80年にわたり
ジャズをリードしつづける革新的レーベル「ブルーノート・レコード」。
その真実に迫る傑作ドキュメンタリー。
11月8日（金）19：00開始（18：30開場）　オーバード・ホール

ワインバー **ヴィニ・ラコント**
（VINI Racconto）

**世界のワインを片手に
ジャズの余韻を…**

チーズやデザートなどで気軽にワインを堪能できるのが嬉しい。カウンターでの一人飲みにもぴったり。富山の食材を使った料理は、一段とワインが進む。
◆ 桜町2-2-24
☎076-432-0995
営：18：00～24：00
休：日曜日・月2回不定休

シェフオススメのスモークされた里芋キッシュも絶品！

バー **アスター**
（Bar Aster）

アート好きのマスターがいる隠れ家的バー

アンティークランプが優しく照らす店内。オススメは季節のフルーツをふんだんに使ったカクテルと数々の芸術家が愛したといわれるお酒アブサン。
◆ 内幸町2-10　松よしビル2F
☎076-441-2209
営：19：00 ～翌3：00
休：月曜日

身体温まるホットカクテルもあります。

クエルクス
（Bar&Restaurant　Quercus）

観劇仲間と盛り上がったらここで。

1Fのカウンターでしっとり。2Fで仲間とワイワイガヤガヤ。さまざまなシーンで利用できるのが◎。
◆ 桜町2-3-34
☎076-431-5677
営：18：00 ～翌2：00
休：無休

タンシチューやいなかふうパテもオススメ！

Jazz&Liquor
ジェリコの戦い

ジャズの名盤が所狭しと並ぶ。

週末は多くの人で賑わう老舗バー。ジャズはもちろん、舞台好きな好奇心溢れるマスターとの会話も楽しい。
◆ 桜町2-3-24　2F
☎076-441-5261
営：19：00 ～翌3：00
休：無休

初めての方も気軽に入れる。リーズナブルなのも嬉しい！

バー **志庵**
（Bar SHIAN）

美しいカクテルは美しい調べで。

ひっそり佇むバーで余韻を味わう。マスターが好みを聞いて作ってくれるカクテルは色が美しく美味しい。情報未公開ですが、探してみて！
お店の場所は徒歩10分圏内。

季節ならではのぶどうのカクテルはフレッシュで美味しい！

営：営業時間　休：定休日　※お店の情報は2019年10月15日現在のものです。営業時間・お休みはお出かけ前にご確認ください。上映会の詳細はP11をご覧ください。

DANCE & RAP

ダンス と ラップ

観念を揺さ振る ── 生まれ変わる

島地保武（しまじやすたけ）×環ROY（たまきろい）「ありか」

異空間、異ジャンル、異色のパフォーマンス

歌舞伎の花道のような、能の橋掛りのような、あるいは渡り廊下のような舞台が劇場の舞台上に設置されている。その両端には二人の居場所であるらしい小スペースが…。客席はこの「廊下」の両側に設えられている。舞台と客席は、この作品のためにだけにデザインされた特別な空間だ。俳優が変身するように、劇場空間そのものがこんなふうに大胆に変身することもある。この空間が二人のパフォーマーの動きばかりでなく、顔の表情の変化や、声の響きが、体が静止しているときでも、まるで目の前で芸を見ているかのような臨場感をつくりだす。そして反対側にいる観客がいやでも目に入る。座っただけで湧いてくるこのワクワク感はなんだろう。

それに応えてあまりあるのが、異ジャンルの二人が織りなす異色のパフォーマンスである。島地保武は、日本で唯一の公共劇場専属の舞踊団、新潟のNoismで活動したあと、ドイツのザ・フォーサイス・カンパニーのメンバーとして活躍した。ウィリアム・フォーサイス率いるこのカンパニーは、ヨーロッパで最も先鋭的なカンパニーであった。島地は技術的にもスタイルの面でも、内外の舞踊界の先端で踊ってきたバリバリの実力派のダンサーなのである。ダイナミックな切れのある動きのスケール感は、他のダンサーの追従を許さない。

すべてが違っていればこそ！

対する環ROYは、ダンサーではなくラッパーである。ラップといえばどうしてもヒップホップ・ミュージックを思い浮かべる。ラップは言葉による「語り」であることからすれば、ヒップホップ以前の遠い古代から人類の文化のさまざまな領域にそなわってきたものなのだ。わたしは南インドや朝鮮半島の呪術的な祭祀をフィールドワークしていたとき、何度もそこで歌われる祭文（さいもん）の響きに出会った。意味などまったくわからなくても、祭文の抑揚はほとんどラップのようで、からだにビンビン響いてくる。外側に発散するのではなく、内側に響く環のラップはとても個性的で、祭文に似たものを感じる。攻めない強さが漂うのだ。

観客の身体も息遣いも、パフォーマンスの一部なのだ。

写真提供：愛知県芸術劇場　撮影：羽鳥直志

島地のダンスと環のラップ。ジャンルがちがうだけでなく、周波数がちがう。ベクトルがちがう。皮膚感覚がちがう。でも二人はそこにいて、時間と空間をシェアする。だからこそ、似た者同士が手をたずさえてやる、仕込まれたコラボレーションとは違う何かが生まれる。ちょっとした接触や囁きが、小さなスパークを生み、視線から息遣いまでを含めた身体という全存在が、そこにあるだけでパフォーマンスになる。

一挙手一投足に体の効く「ダンサー」として身体能力を発揮する島地。彼の跳躍も着地も、発する声も、すべてがダンスの切れ味である。ダンサーではない環だが、島地とは別の身体の佇まいを見せる。そして気づかされる。ラップというパフォーマンス自体、極めて身体的、というよりダンサーとは違った意味で身体そのものであることを。

極めて現代的でありながら、原点に降り立つ

島地と環は、互いの声、ことば、接触、視線、体勢、息、そして身体から何かを探りつつ、そのとき、その場で何かを創造しようとする。それらが噛み合ったり噛み合わなかったりのスリリングな時間。これは真の意味でのコラボレーション であり、インプロビゼーションなのである。この作品は、これまで違った劇場で何回か繰り返し上演されてきたが、上演の数だけ違った二人の姿がある。そして毎回異なるその場に居合わせる観客の身体も息遣いも、パフォーマンスの一部なのだ。富山の空気を吸い、富山の人たちに出会った二人が、初めて富山で行うこの作品は、おのずとこれまでとは違った波動を生み出すはず。

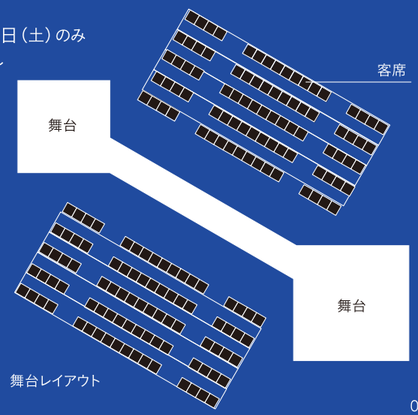
声があり、祈りがあり、唱え言があり、神話があり、踊りがある。ラップとコンテンポラリー・ダンスという新しい組み合わせが、遠い古代に人々が出会い何かしらの表現をしないではいられない、そんな「行為の原点」を立ち上らせてくれるにちがいない。われわれも島地と環に触発されて、自分の「ありか」を探ってみないではいられなくなるだろう。

文：石井達朗［舞踊評論家］

公演情報 | 島地保武 × 環ROY「ありか」

- ◆ 日時：2020年2月28日（金）19:00開演・29日（土）14:00開演
- ◆ 会場：オーバード・ホール舞台上特設シアター
- ◆ 出演：島地保武、環ROY
- ◆ チケット：［自由席・整理番号付き・税込］ 一般 3,000円、U-25 2,000円
  ※U-25：鑑賞時25歳以下対象。ご入場の際、身分証が必要です。
  ※未就学児入場不可。
- ◆ チケット発売日：
  アスネット会員先行：11月9日（土）のみ
  一般発売：11月17日（日）～
- ◆ プレイガイド：
  アスネットカウンターほか

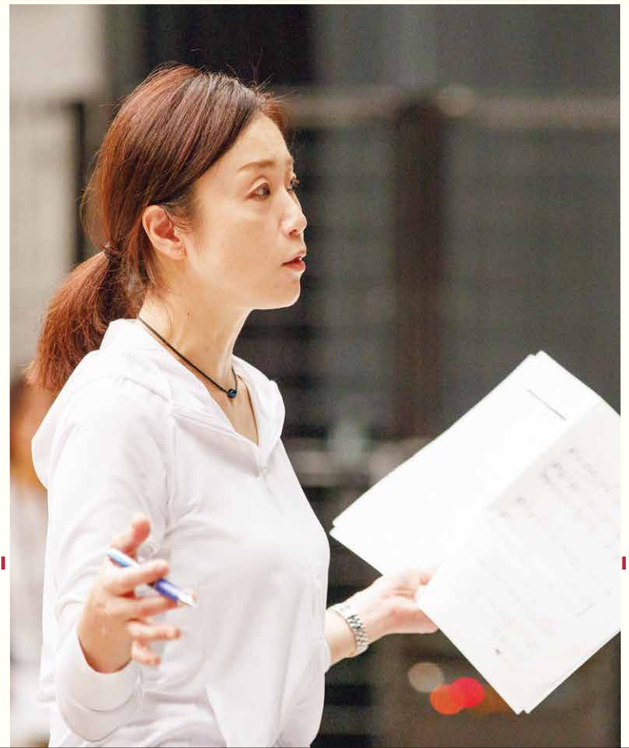
★チケットのお求めはP11「チケット購入方法」をご覧ください。



舞台レイアウト

Professional

歌の力が、その人の明日をつくる。



ヴォーカルトレーナー
本田育代

「歌の力は無限。自分を変えるきっかけを提供できたら」。そう話す本田育代はオーバード・ホールが企画するワークショップ「We Love Musical」のヴォーカルトレーナーとして、幼児から年配までの男女に歌う楽しさや心を解放する気持ち良さを伝える。レッスンの最後、人前での歌唱披露に勇気を振り絞って手を挙げた少女がいた。彼女の明日が、その瞬間から変わるかもしれない。

女優は、自らエネルギーを放つ。

このワークショップに携わって4年目になる本田は、現役のミュージカル女優だ。高校生の頃に「レ・ミゼラブル」を観劇し、「この作品で帝国劇場の舞台に立つ」と誓い、国立音楽大学、東宝現代劇養成所を経て夢を実現した。憧れの舞台で「ワン・デイ・モア」を歌いながら行進をしたときには、言葉では言い表せない感情を味わったという。「内側から湧き上がるエネルギーを歌で表現することで、私が作品の一部になれます。それがミュージカル女優としての一番の喜びです」。

歌への認識を変え、のびやかな声を。

最近はヴォーカルトレーナーとして、プロ・アマ問わず発声や歌唱の指導を行うことが多い。彼女が考えるミュージカルの歌とは、「特別なものではなく、おしゃべりの延長」だ。誰もが普段、呼吸をしながら言葉を発している。その無意識の行為を演者に意識させることで、セリフが自然と歌に発展していくような感覚を身につけさせる。歌への敷居を下げることで、より声を出しやすくするためだ。また、プロの場合でも舞台上で急に声が出なくなることがある。原因は心理的なものから物理的なものまで多岐にわたるが、本田がすぐに解決方法を提案できるのは舞台経験の賜物といえよう。

言葉の力で、その人の歌を引き出す。

「何を言えば、その人の歌がより良くなるのかが自然と分かるんです」と話す本田は、教育者の祖父と父を持ち、幼い頃から教育論をディスカッションする家庭で育った。ミュージカル界の神と言われる音楽監督からトレーナーの道に誘われたのは必然だったのかもしれない。そんな彼女が最も神経を使うのは、アドバイスの言葉選び。同じことを言っても、年齢や経験などによって捉え方が異なる。たった一言で歌を変えてしまうこともあるのだ。そのため演者が100%のエネルギーで歌えるように、観客にとって1回限りの公演という責任を感じながら助言している。「この仕事をしてから白髪が増えましたが（笑）、ミュージカルという最強の表現のために、できる限りの情熱を注いでいきたい」。

本田育代（ほんだ・いくよ）：栃木県出身。ミュージカル女優。主な出演作品は「レ・ミゼラブル」「MITSUKO」「サイド・ショウ」「ボーイ・フロム・オズ」「テイク・フライト」他。ヴォーカルトレーナーとしては、2017年の「マリウス」（脚本・演出：山田洋次）、2019年より東宝ミュージカル「レ・ミゼラブル」他で活躍。オーバード・ホールのワークショップ「We Love Musical」では2016年から指導を務める。

U-25 25歳以下対象の座席引換券。座席はお選びいただけません。公演当日、当日券窓口で身分証ご提示の上、入場券とお引換えください。
U-25 25歳以下対象の座席指定券。公演当日、入場の際に身分証の提示が必要です。
※情報は2019年10月15日現在のものです。変更になる場合がありますのでご了承ください。詳細・最新情報はHPをご覧ください。※年齢による入場制限については、各公演で異なります。

主催公演情報

11/7 Thu トリエステ・ヴェルディ歌劇場 G.ヴェルディ「椿姫」

好評発売中

◆ 指揮＝ファブリツィオ・マリア・カルミナーティ
◆ 出演＝ジュリオ・ペッリグラ、ジェシカ・ヌッチオ、ドメニコ・バルツァーニ、澤武紀行（特別出演）ほか
◆ 演奏＝トリエステ・ヴェルディ歌劇場管弦楽団／合唱団
◆ 開演＝18：30 ◆ 会場＝オーバード・ホール
◆ 料金＝［全席指定・税込］
SS席 17,000円 S席 14,000円 A席 9,000円
B席 6,000円 U-25 4,000円

11/8 Fri FMとやま×オーバード・ホール×ほとり座 特別上映会「ブルーノート・レコード ジャズを超えて」

好評発売中

◆ 上映後トークセッションゲスト＝行方均（音楽評論家）、山中千尋（ピアニスト）
◆ 開始＝19：00
◆ 会場＝オーバード・ホール
◆ 料金＝［全席自由・税込］ 一般 2,500円
◆ 特別協賛＝富山トヨタ

11～12月週末 ウィークエンド・コンサート 2019 入場無料

開催日など詳細はオーバード・ホール公式HPをご覧ください。
◆ 会場＝市内各地区

11/9・10 Sat・Sun トヤマ・パフォーミングアーツ・フェスティバル 2019 入場無料

タイムテーブルなど詳細はオーバード・ホール公式HPをご覧ください。
◆ 会場＝富山市民芸術創造センター

11/12 Tue AUBADE HALL Presents Tap into The Light 2019

好評発売中

◆ 出演＝熊谷和徳
谷口翔有子、米澤一輝（Tap）
ラティール・シー（Percussion）
藤田千穂、新井紗央理、高田愛子、井上貴信（Strings）
◆ 開演＝19：00
◆ 会場＝富山市民プラザ アンサンブルホール
◆ 料金＝［全席指定・税込］
一般 4,000円
ジュニア（高校生以下） 2,000円

11/14 Thu 市民のためのランチタイム ジョイフルコンサート Vol.67

入場無料

◆ 時間＝11：50 ～ 12：50
◆ 会場＝富山市民プラザ アトリウム
◆ 出演＝加藤由貴（サクソフォン）、神保侑典（ギター）、星野いずみ（ピアノ）

11/26 Tue 柳家三三・春風亭一之輔 二人会

好評発売中

◆ 開演＝19：00
◆ 会場＝婦中ふれあい館 ふれあいホール
◆ 料金＝［全席指定・税込］一般 3,000円

12/4・5 Wed・Thu AUBADE HALL Presents 音楽入門講座 作曲家「加藤昌則」が誘う劇場型クラシック鑑賞術！

好評発売中

◆ 講師＝加藤昌則（作曲家・ピアニスト）
◆ 第5回ゲスト＝三宅理恵（ソプラノ）、近藤圭（バリトン）
◆ 開演＝第4回「オペラ三人衆」12/4（水）19：00
第5回「奏でる三人衆」12/5（木）19：00
◆ 会場＝富山国際会議場 メインホール
◆ 料金＝［全席自由・税込］
第4回 1,000円（500円）／第5回 2,000円（1,000円）
※（ ）内はジュニア料金（高校生以下対象）。

12/14・15 Sat・Sun ミュージカル「天使にラブ・ソングを ～シスター・アクト～」

好評発売中

◆ 出演＝森公美子 ほか
◆ 開演＝12/14（土）12：00
12/15（日）12：00
◆ 会場＝オーバード・ホール
◆ 料金＝［全席指定・税込］
S席 13,800円
A席 10,000円
B席 7,000円
U-25 5,000円

12/22 Sun 第九交響曲 “歓喜の夕べ” 2019

好評発売中

◆ 指揮＝円光寺雅彦
◆ 管弦楽＝東京交響楽団
◆ ソリスト＝中川佳美（ピアノ）、澤山晶子（ソプラノ）、田村由貴絵（アルト）、望月哲也（テノール）、森雅史（バリトン）
◆ 開演＝16：00 ◆ 会場＝オーバード・ホール
◆ 料金＝［S・A席は全席指定、B席は5階自由席・税込］
S席 5,500円 A席 5,000円 B席 3,500円

2020 2/2 Sun 佐渡裕指揮 兵庫芸術文化センター管弦楽団 創設15周年記念 特別演奏会

好評発売中

◆ 指揮＝佐渡裕
◆ 管弦楽＝兵庫芸術文化センター管弦楽団
◆ ピアノ＝エフゲニ・ボジャノフ
◆ 開演＝14：00
◆ 会場＝オーバード・ホール
◆ 料金＝［全席指定・税込］
S席 7,500円 A席 6,500円
学生券（大学生以下・当日座席指定） 2,000円

2/22 Sat billboard classics festival 2020 in TOYAMA

◆ 出演＝NOKKO、大黒摩季、野宮真貴、幸田浩子、村治佳織、石崎ひゅーい、尾崎裕哉 ◆ 指揮＝栁澤寿男
◆ 管弦楽＝オーケストラ・アンサンブル金沢
◆ 開演＝16：00 ◆ 会場＝オーバード・ホール
◆ 料金＝［全席指定・税込］
一般 6,500円 ペア 12,000円 U-25 3,000円
◆ 特別協賛：富山トヨタ、富山トヨペット、ネッツトヨタノヴェルとやま
会員先行発売日：12月7日（土）のみ
一般発売日：12月15日（日）～

3/7 Sat 日本舞踊家集団 弧の会 × 邦楽囃子方集団 若獅子会

◆ 開演＝16：00 ◆ 会場＝オーバード・ホール
◆ 料金＝［全席指定・税込］一般 4,000円 U-25 1,000円
会員先行発売日：11月30日（土）のみ
一般発売日：12月8日（日）～

チケット購入方法

アスネットカウンターでお買い求めください。

インターネット
アスネットオンラインチケット
www.aubade.or.jp 24時間受付
※ご利用の際には会員登録が必要です。

電話予約
アスネットカウンター（オーバード・ホール1F）
TEL. 076-445-5511 10：00～18：00
定休日：毎週月曜（月曜が祝日の場合、翌平日）
年末年始（12月29日～1月3日）

窓口販売